



1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1192000089	
法人名	株式会社ウイズネット	
事業所名	グループホームみんなの家・鳩ヶ谷	
所在地	埼玉県川口市里396-1	
自己評価作成日	平成30年9月8日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 ケアシステムズ
所在地	東京都千代田区五番町12-7 ドミール五番町2-34
訪問調査日	平成30年11月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域の方に貸している畑で収穫された野菜をおやつに取り入れたり、室内だけではなく屋外を利用し、季節にあったレクリエーションをできる範囲で行い、皆さんに季節を感じて頂く様な支援をしております

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事務所内は整理整頓されており、「パーソンセンタードケアとは?」「インフルエンザ感染時の注意点」等、日常業務に必要な注意事項が簡潔に分かり易くきちんと掲示されていた。また、3秒ルールとして①薬を手取る②顔と名前を確認する③投薬と大きく書かれている。また、漬しても良い薬として具体例も明示されていた。さらに、誤薬自己記録として連続無事故日数が記載されており、ホーム長を中心に職員が服薬ミス無くすべく取り組んでいる様子が伺えた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) ○
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) ○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28) ○		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「楽しく暮らす第2の我が家」の理念を職員一同で共有し、楽しい暮らしを意識してレクを行う様心掛けている	職員が楽しく働くことでホームの雰囲気も良くなるとの考えから、イベント等も利用者とともに職員も楽しみ、利用者だけでなく家族も巻き込み、理念通りに仲良く楽しく暮らすことを実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩時は近隣の方と挨拶を交わしている	ホームでの行事の際には近隣にも声をかけ、参加を促したり、散歩のときなどに積極的に挨拶をしたりしているが、地域性もあり、日常的な交流にはつながっていない。少しずつでも交流につながるような工夫をされることに期待したい。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	行事によっては近隣にも参加をうながしている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事と家族会を同日に行い参加しやすいようにしている	定期的に運営推進会議を開催しており、家族の参加も多く見られている。事業所の活動報告を行ったり、家族からの意見をいただいたりしながら意見交換の場となっている。	運営推進会議では地域包括センターや地域の方の参加してもらえるような働きかけや工夫に期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市からの研修、案内などはインターネットで閲覧できるようになっている	日常的に連絡は行っていないが、報告の必要な事故等が発生し違場合は速やかに報告している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月身体拘束について話し合いを行っている	法人の方針に基づき身体拘束は行っていない。身体拘束廃止委員会を毎月開催して身体拘束に関する知識を共有し職員間で意識を高めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月高齢者虐待の話し合いを行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修の案内は閲覧できるようにし、また参加しやすいようにしている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に口頭で説明してる		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会などでも意見をお聞きしたり反映できる様努めている	運営推進会議や面会等の機会に家族からの要望、意見等を伺うようにしている。また、面会に来られない家族へは電話での連絡の際に要望、意見等を伺い運営に反映できるように努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議で管理者会議の内容を述べ意見を聞くようにしている	フロア会議、職員会議で職員からの意見を聞く機会を設けている。その他にも日々の業務の中で管理者より職員へ声をかけ、意見を聞くようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	自己評価やヒヤリングを行っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修や外部の研修に参加する機会を作っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市主催の交流会、地域のネットワーク作りに参加している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	実態調査訪問から情報収集しサービスに繋げている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	介護計画作成時に違憲確認で把握している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	意向確認で求めている事を把握できるよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できる家事手伝いをして頂き協力して生活してる実感を持って頂くよう支援している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	できる協力は家族で行って頂くようにしている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会、外泊は制限せず支援頂いている	面会や外泊はいつでも受け付けており、家族以外の友人等の面会の際には、事前に家族より連絡をもらうようにしている。なじみの場所等への訪問を希望する利用者がある場合は、家族に付き添いをお願いしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎月の生活において関わり支えあえるよう声かけを行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意向確認書にて確認している 意思疎通が困難な方は生活を通じて判断させて頂いています	日常の支援の中で本人より要望等を聞くようにしている。また、ケアプラン(再))作成時は「意向確認書」を用いて利用者、家族の希望等の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	実態調査訪問から把握している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居前の情報と入居後の実態にて現状把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	フロア会議で話しあっている	意向確認書とアセスメント表から課題を抽出し、ケアプランの原案を作り、フロア会議で内容について話し合い、ケアプランを作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画書のサービスの内容にナンバリングし、生活記録に記入している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	3ヶ月毎にモニタリングし、新しいニーズに対応していく様になっている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	食事面では希望により出前を取ったり、おやつ作りをしている。ボランティアの受け入れもしている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療契約を結び、体調管理が継続的に行えるよう支援している	かかりつけ医を受診している人は1名で、他は訪問診療医が月2回往診している。診療医は事業所の医師と近隣の医師がおり、家族が選んでいる。また、認知症専門医と連携しており、本人の状況悪化の場合は、受診し対応している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携を結び、相談や指示を受け対応している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくり	入退院時には情報提供により安心して生活できるよう対応している		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取り契約では主治医と相談し、対応できるようお家族を含め情報を共有するようにしている	食事をとれなくなったら、医師・家族・ホーム長が施設で面談を実施。家族が医療的ケアを望まない場合は契約をして看取りの体制に入る。一日2回バイタルを取り、温度調節や空気の入れ替え等室内の清掃を心掛け、医師の指示や訪問看護師のアドバイスを受けながら看取りを実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルに沿って対応している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練を実施し、水害を想定した避難訓練、備蓄品の整備にも努めている	避難訓練と消火器訓練を実施している。避難訓練は火災を想定し、10名弱の利用者を駐車場に誘導。消火訓練は防火管理者が中心となり、消防署に通報したり、水消火器2-3本を消防署から借りて職員全員が実演している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者にあった声かけ、利用者を尊重した対応が出来るよう努めている	職員は利用者の気持ちを第一に考えながら支援しており、表現できない利用者でも困っていることはないか等の気配りを欠かさないとのことであった。全職員が共通の認識を持ち支援にあたるように定期的な研修も検討されたい。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の状態、性格の合わせて意志を損用できるよう支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者個々のペースに合わせて過ごして頂くようにしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好みの服を選んで頂き、女性は化粧水など管理できる状態であれば居室保管している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の食事の盛り付け、食器拭きは交代で行って頂いています。時に出前を取り喜んで頂いています	量の管理が必要なご飯や汁物は職員が実施するが、おかずの盛り合わせ・箸やお茶の用意等と準備や片づけはお手伝い頂いている。また、年に数回は、お寿司の出前を頼んだりハンバーガーを買ってきて利用者に喜ばれている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の水分量が不足しないよう声かけ対応している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は声かけを行い、介助が必要な方は対応しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導や声かけを行っています	一部介助9名、見守り2名、自立6名の利用者には食事前・おやつ前後・就寝前後にトイレ誘導している。なお、退院しておむつ対応になった利用者でも排泄パターンを把握しながらトイレ誘導をはじめなどの対応をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個人によりヤクルト製品を活用してしています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入る順番、湯温、タイミング等できる範囲で行っています	1人ずつの入浴なので25分くらいかけてゆっくりと入浴して頂いている。また、1対1の支援なので、職員は会話を楽しむ事を心掛けている。時間などの希望がある利用者には個別に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々に合わせて午後に休息したり、就寝時間も状況に応じている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の情報はファイル化し、常に確認できるようにしている 訪問診療時には症状の相談や変化を伝えられている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ひとりひとりの状態に合わせて出来る範囲で家事手伝いをお願いしている 好きな歌やゲームも楽しめるよう支援している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	春にはお花見ドライブを実施している 天候に合わせ散歩や外気浴が出来るよう努力している	年1回の花見は介護タクシー3台を利用して車の中から見ている。散歩は、ホームの外周や学校のグラウンド見学。民家が多くガーデニングを実施している家もあり、季節の花を楽しめる。また、部活動を見て会話が弾んでおり、利用者の楽しみとなっている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物の希望が有ればできる範囲で対応している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個人的携帯を所持したり、手紙のやり取りはしている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には不快なおいが内容芳香剤を設置し、共用の場には飾りで季節感を出すようにしている	清掃はチェック表を活用してきちんと実施している。また、トイレには消臭剤を設置し、排便の後にはスプレーをする等、臭い対策も実施している。掲示物では、職員やホーム長が折った折り紙が美しく紅葉・カーネーション・バラ・コスモス等、手の込んだものが多かった。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	座席は各人の相性を考えながら決め、会話が弾むよう工夫している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	希望により位牌や写真立て、ソファなど持ち込んでいる方もいます	使い慣れた食器類の持ち込みは無いが、位牌を持って来られた方は、写真立て名、TVなどを多くの利用者が持参している。また、ベッドの位置を自分の好きなように配置換えをする等、居心地よく過ごせるように支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室、トイレは分かりやすいように表示している		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の日程がご家族様希望で土日に設定する事が多く参加が少ない	参加人数を増やす	参加しやすい内容を検討し取り組んでいく	12ヶ月
2	35				月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

